

2016.4から、週5回コウノトリ米（減農薬）使用



**90t／年間 の全量を
無農薬米に転換する！
（2026年産目標）**



無農薬米の稲刈りを、子どもたちと一緒に



豊岡ふるさと学習ガイドブック

豊岡市



豊岡ふるさと学習
ガイドブック

TOYOOKA
FURUSATO GAKUSHŪ
Guide Book

豊岡市



農家
なりた 成田 市雄 さん

続けていく
コウノトリ育む農法を

コウノトリ育む農法に取り組むことを決めたのはなぜですか？

今から10年以上前「コウノトリのために無農薬でお米を作ってほしい。」と行政からお願いされたときには、「そんなの無理だよ。」と思いました。もしも失敗すると、私のような農業だけを仕事にしている人は収入がなくなり、家族が生活できなくなります。農薬や化学肥料を使えば、だれでも簡単にお米がたくさん収穫できる、と教えら

れてきたのですから。

それでも、この依頼をきっかけにコウノトリのことを勉強すると、田んぼの生きものを食べたコウノトリの体に農薬の毒がたまっても中毒になり、卵を産んでもヒナがかえる力がなくなったことを知りました。そして、自分の子どもたちの未来のことを考えました。「同じことが人でもおこれば、自分が作ったお米のせいで、たくさんの人を不幸にってしまうかもしれない。」考えただけでいやでした。食べても絶対に病気になるなど、胸を張って言える米を作り、その結果、コウノトリも田んぼでくらすたらええな、と思いました。

コウノトリ育む農法に取り組んでよかったこと、大変だったことを教えてください。

日本のお米作りは、いまから3000年ほど前にはじまり、ずっと無農薬の米作りが続いていたのに、つい80年前から農薬や化学肥料を使い始め、あっという間に使うことが普通になりました。裏返せば、昔は無農薬で米を作っていたんだから、農薬を使わなくても米作りはできるはずです。どうすれば豊岡で無農薬の米を効率よく作れるのかを実験していくと、色々なことに気づきました。草を枯らす農薬を入れると、稲も草の仲間だから弱ってしまう、だから化学肥料が必要になること。困った雑草は、トラクターで浅くかき回せばそのまま枯れることなど。そして、私以外にも色々な人の実験結果をもとに、農家も行政もJAも大学の先生も協力し合ってコウノトリ育む農法の教科書を作り、取り組みやすくしました。私にとっては、手間は普通の農法と一緒くらい。しかも農薬代がかからないし、この取組に共感し、応援してくれる人が高く買ってくれるから儲かる。なによりも、人の体に安全で安心。全部いいでしょう？だから、豊岡の田んぼが将来、全部無農薬の田んぼになって、安全なお米を地元みんなが食べられるようになる、いいのになあ。

インタビュー



農家
なりた 成田
いちろ 市雄 さん

コウノトリ育む農法を
続けていく

今から10年以上前「コウノトリのために無農薬でお米を作ってほしい。」と行政からお願いされたときには、「そんなの無理だよ。」と思いました。

もしも失敗すると、私のような農業だけを仕事にしている人は収入がなくなり、家族が生活できなくなります。

農薬や化学肥料を使えば、だれでも簡単にお米がたくさん収穫できる、と教えられてきたのですから。

それでも、この依頼をきっかけにコウノトリのことを勉強すると、田んぼの生きものを食べたコウノトリの体に農薬の毒がたまって中毒になり、卵を産んでもヒナがかえる力がなくなったことを知りました。

そして、自分の子どもたちの未来のことを考えました。「同じことが人でもおこれば、自分が作ったお米のせいで、たくさんの人を不幸にってしまうかもしれない。」考えただけでいやでした。食べても絶対に病気にならないと、胸を張って言える米を作り、その結果、コウノトリも田んぼで暮らせたらええな、と思いました。

どうすれば豊岡で無農薬の米を効率よく作れるのかを実験していくと、色々なことに気づきました。

草を枯らす農薬を入れると、稲も草の仲間だから弱ってしまう、だから化学肥料が必要になること。困った雑草は、トラクターで浅くかき回せばそのまま枯れることなど。

そして、私以外にも色々な人の実験結果をもとに、農家も行政もJAも大学の先生も協力し合ってコウノトリ育む農法の教科書を作り、取り組みやすくしました。

私にとっては、手間は普通の農法と一緒に
くらい。しかも農薬代がかからないし、
この取組に共感し、応援してくれる人が
高く買ってくれるから儲かる。なによりも、
人の体に安全で安心。

全部いいでしょう？

だから、豊岡の田んぼが将来、全部無農
薬の田んぼになって、安全なお米を地元
のみんなが食べられるようになると、いい
のになあ。



ご清聴ありがとうございました

これからも『豊岡グッドローカル農業』
を育て、広げていきます！

